

平成22年4月1日



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760
FAX 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

広報誌 第17号

よちよちちゃん





乳児院 S サポーター紹介

Watcha 012



この輪茶という活動は、僕と、妻と母の3人でやっているちょっと規模の大きい趣味のようなものです。

『様々な活動をしている皆さんを紹介したり、交流できたりしたら、きっともっと毎日は楽しくなるだろうなあ』また、『本当はちゃんと考えなければいけない問題を、たくさんの人と一緒に考え答えを導きだしていけたらいいなあ』というのが始まりです。

『背伸びはしない』『無理強いはしない』

乳児院との出会い

2年前開催のイベント、輪茶フェス1の時からお世話になり、輪茶フェス2では、実際に参加もしていただきましたし、輪茶012においては、乳児院についてのページも書かせていただきました。

輪茶フェスを開催するにあたり、その収益を福祉団体などに募金しようという話になりました。その時、助産師の妻が、学生時代に乳児院にボランティアに行ったことがあるという話から募金先として候補にあがったのがきっかけです。

乳児院には、様々な理由で親と一緒に過ごせない子がいることなどの話から、いわゆるドラマに出てくるような孤児院を想像し、かわいそうなのかな、とか思っていました。実際に院を訪ねてみるとそんな事はなく、他の幼稚園保育園と同じく活発で笑顔が溢れていて、とても明るい素敵な場所でした。

乳児院に遊びに行くと、いつも笑顔と元気いっぱいの声が溢れていて、とても幸せな気分になります。（節分にお邪魔した時は泣き声ばかりでしたが・・・）

これからも、いろんな機会でご一緒できたらな、と思っています。

背伸びしてがんばってしまうと、どこかで必ず限界が来て、活動が止まってしまいます。だから、何をやるにしても、自分が余裕を持ってできる大きさに留めておこうと決めています。また、僕たちの活動に興味を持ってくれたときが、出会い時だと思っているので、こちらから無理にお誘いはしないようにしています。

どんなに面白いことでも、楽しむ気がないときは、やっぱり思い切りは、楽しめません。そして、これは普段の生活の様々なことにも言える事なんじゃないかな、とも思っています。小さな前進でも、ずっと続けていくことで大きく変わることもたくさんあります。



輪茶の石岡さんご家族です



秋田の面白そうなことの種発見用フリーペーパー『輪茶』
 ◎ 輪茶フェス 7月、12月開催
<http://wahtttcha.michikusa.jp/>
 編集部 石岡大輔 090-8250-8469 ochanoma@cna.ne.jp

「どんな気持ちで働いていますか」

働きがいのある職場作りをめざして「福祉サービスの理念と実践」についての研修会が3月1日開かれた。講師は知的障がい者施設『虹の家』の桜田星宏施設長。先生は「利用者により良い関係をつくるために、援助者

は自分自身の感情や特徴について意識し、吟味する必要がある。」と述べた。また、「社会福祉の知識(資格)だけではいけない。社会福祉の哲学(使命感)として、利用者本位のサービスを目指す努力がないより大切。」と説いた。



研修に参加した齊藤看護師は「桜田施設長が施設内での情報共有を図るために職員への一斉メールを配信しているのは、聞き間違いや連絡ミスなどのトラブルを無くし、チームワークを高めるためのいい方法ですね」と話していた。



職員とのやり取りや自身の体験をおりまぜながら研修をする桜田先生



おもわず笑顔がこぼれるひとこま



保育室から

ことり



1歳10ヵ月の男の子が仲間入り。体調が優れなかったりして、なかなか慣れず、少し不安そうでした。この頃、やっとかわいい笑顔を見せてくれる日が増えてきました。

暖かくなったら、お散歩で楽しい時間をたくさん作りたいな。

ぼんび

新しいおもちゃに夢中

室内での遊びが多くなる冬季間。養育ホールいっぱいルールを広げ、電車を走らせています。トンネルから走り出てくる電車を床に寝転んで見ている。子ども目線で見ると、これには、納得。なるほど迫力満点で楽しい。夢中になるわけです。



レールをつなげる真剣なまなざし

ひよこ

おままごとをしながら、保育者とごっこ遊びを楽しんでいます。「いただきます。もぐもぐ」「りんご、ちょうだい。」「どうもありがとう」…保育者が、ズルズル〜と大げさにラーメンを食べる真似をすると、子どもたちは大笑い、大喜びです。



「あ〜ん、おいしいね。」保育者とのやり取りで楽しい世界が広がります

さあ、新年度のスタートです！

新年度に向けての心構えを看護師長に伺いました。



養育者は、第一に優しく愛着深いこと。子どもの心を汲み取り、愛着関係を築き、アタッチメントの形成に尽力できることです。

第二に幅のある人間であること。子ども個々に適した対応が求められ、環境を整えることも大事ですし、職員間のコミュニケーションも大切になります。他人を認められることが第一歩だと思います。組織を理解する力も必要となってきます。

第三に社会情勢に目を配り、自分の立位置を考える力があること。社会から何を求められ、自分

は何をすべきかと。地域に必要とされる院でありたいものです。また、養育現場の中にあっても経済面を意識する力も必要です。

第四に自分を高める努力を怠らないこと。全てが今十分に備わってなくても、考える事と学ぶ姿勢を常に持つことが大切だと思います。

全職員で協力をして、社会をたくましく生きていく力を持つ子どもたちに育てて行きたいと考えております。

(看護師長 保坂)

22年度4名の新しい スタッフが加わりました



右から、渡辺保育士、赤次保育士、佐藤保育士、薄田保育士です。
よろしくお願いいたします。



もっとクロス

赤十字運動月間イベント

ネイガー・マイが

秋田のこどもを守る！

～みんなで学ぼう！こどもの手当て～
幼児安全法講習会

日時：5月16日（日）10時～15時

場所：イオンモール秋田

JRC来院

JRCのお姉さん、お兄さんがボランティアで来院しました。

「かわいい。」「ちいさいね。」と、抱っこし、授乳のお手伝いや子ども達と一緒に遊んでくれました。

男の子は、お兄さんに興味津々。ダイナミックにアンパンマンごっこで楽しい時間を過ごすことができました。



院庭の陽だまりにクロッカスが咲いていました

編集後記

3月の末というのにどか～んと雪が降った。「なごり雪」とは言えない異常気象である。エコはパフォーマンスだけではだめ。未来の子どもたちのためにも意識を持って取り組まなければと強く感じる。

意識して「新〇〇」の節目には心密かに誓いを立てている。しかし3か月前の誓いはすでに遠退き、体重計とレコーディングシートだけが残っているだけ…。

さあ新年度！この紙面を持ってリベンジを誓う。ダイエットもエコですよ。

(石山)